

みんなで賃上げ。ステージを変えよう！

2024 春季生活闘争ニュース

2024. 5. 8 — 第 24 号 — 連合北海道 春季生活闘争本部

2024 年春季生活闘争 第 5 回回答集計結果について

連合本部は、2024 年春季生活闘争につき、5 月 2 日（木）10 時の時点で取りまとめた回答集計について、次の通り発表した。

- 月例賃金改善（定昇維持含む）を要求した4,940組合中3,733組合が妥結済み（75.4%）。うち賃金改善分を獲得した組合は2,323組合・62.2%（昨年同時期比177組合増・4.0ポイント増）と、昨年同時期を上回っている。
- 平均賃金方式で回答を引き出した3,733組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で15,616円・5.17%（昨年同時期比4,693円増・1.50ポイント増）、うち300人未満の中小組合2,480組合は11,889円・4.66%（同3,561円増・1.31ポイント増）となった。4月末時点の結果としてはいずれも、比較可能な2013闘争以降、額・率とも最も高い。
賃上げ分が明確に分かる2,860組合の「賃上げ分」は10,778円・3.57%、うち中小組合1,725組合は8,461円・3.22%となった。4月末時点で3%を上回ったのは、賃上げ分の集計を開始した2015闘争以降初めてである。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給65.72円（同9.24円増）・月給12,883円（同4,034円増）である。引上げ率は概算でそれぞれ6.02%・5.76%となり、引き続き一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。
- すべての労働者の立場にたった「働き方」の改善やジェンダー平等・多様性の推進に向けても引き続き多くの取り組みがなされている。

連合北海道は、5 月 2 日（木）10 時の時点で取りまとめた回答の集計を行った

- 連合北海道にエントリーのあった 194 組合中 154 組合が妥結した（79.4%）。そのうち、集計可能な回答を引き出した組合は 141 組合（昨年同時期比 9 組合増）、人数は 51,445 人（同 10,839 人増）となった。
- 月例賃金の加重平均は、12,835 円・4.62%（同 4,121 円・1.33 ポイント増）となった。
- 集計可能な 141 組合のうちベースアップ分が明確にわかる組合は 112 組合、全体では 9,049 円・2.96%（同 4,006 円・1.16 ポイント増）であったが、うち 300 人未満の中小 81 組合では 9,280 円・3.52%（同 4,027 円・1.52 ポイント増）となり、300 人以上の組合の 8,991 円・2.8%（同 4,000 円・1.05 ポイント増）および全体集計を上回った。
- 有期・短時間等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時間給 58.51 円・5.61%・月給 8,489 円・4.25% の引き上げとなった。

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込み)	昨年比
～99 人	67	3,458 人	9,491 円(3.95%)	6,931 円(3.17%)	2,560 円(0.78%)
100～299 人	38	6,676 人	12,464 円(5.06%)	8,118 円(3.58%)	4,346 円(1.48%)
300 人未満計	105	10,134 人	11,394 円(4.65%)	7,774 円(3.46%)	3,620 円(1.19%)
300～999 人	26	13,015 人	13,181 円(5.01%)	9,280 円(3.37%)	3,901 円(1.64%)
1,000 人～	10	28,296 人	13,124 円(4.36%)	8,867 円(3.20%)	4,257 円(1.16%)
300 人以上計	36	41,311 人	13,141 円(4.61%)	9,000 円(3.25%)	4,141 円(1.36%)
計	141	51,445 人	12,835 円(4.62%)	8,714 円(3.29%)	4,121 円(1.33%)